

まち未来だより

2015
April
発行

宜野湾市基地政策部まち未来課

「まち未来だより」では、普天間飛行場跡地利用を始めとした宜野湾市のまちづくりに係る最新情報をお伝えします。

地域の皆さんとまちの点検を実施！

跡地のまちづくりは「地権者」の問題と認識されがちですが、跡地利用を成功させるためには、宜野湾市一丸となってまちづくりに取り組む必要があります。そこで、宜野湾市では自治会単位で跡地周辺のまちを見直す「まち歩きとまちづくり座談会」の取り組みをスタートさせました。今年度は上大謝名地区と宜野湾地区を対象に実施しましたが、次年度以降も取り組みを活発化させていく予定です。

上大謝名地区

開催日時：平成 27 年 3 月 8 日（日）13：30～16：30
参加者数：16 名（上大謝名自治会役員 他）



①まち歩き前の事前勉強



②グループに分かれてまち歩き



③まち歩きの取りまとめと発表

上大謝名地区では、まち歩きを通して、主に「住宅地の中に緑が多いこと」、「高台からの見晴らしが良いこと」、「文化財が残っていること」等の地域の良さの他、「生活道路が抜け道となっていて地区内を通る車が多い」、「道が狭くデコボコしていて歩くのが危険」等の地域の問題が挙げられました。また、「桜並木のコミュニティ道路を整備したい」といった地域の夢も数多く提案されました。

宜野湾地区

開催日時：平成 27 年 3 月 15 日（日）13：30～16：30
参加者数：15 名（宜野湾自治会役員、宜野湾郷友会、「若手の会」他）



①まち歩き前の事前勉強



②地域の成り立ちを聞きながらまちを点検



③まち歩きの取りまとめ

宜野湾地区では、仲村自治会長さんより戦前から戦後にかけて、地域の成り立ちを解説して頂きながら、まちを点検しました。主に「大きな商業施設がなく閑静であること」、「海拔が高く津波の心配が無いこと」、「基地内に歴史的な資源が残されていること」等の地域の良さの他、「公園等の憩いの場が無いこと」、「歩道が狭く危険であること」、「交通標識が無く事故が起こりやすい箇所がある」等の地域の問題が挙げられました。

学生目線の跡地利用を討議しました！

跡地のまちづくりは宜野湾市の今後のまちづくりに大きな影響を与えるものであることから、将来を担う若者にも普天間飛行場の跡地利用に関心を持ってもらう必要があります。

そこで、平成 27 年 2 月 22 日（日）に「普天間飛行場の跡地利用が持つ意義とは？」をテーマとして、市内の高校、大学に通う学生による「沖縄学生会議 2015」を開催しました。当日は 10 名の学生が登壇し、それぞれの専門分野から見た跡地利用の在り方について様々な意見が出されました。

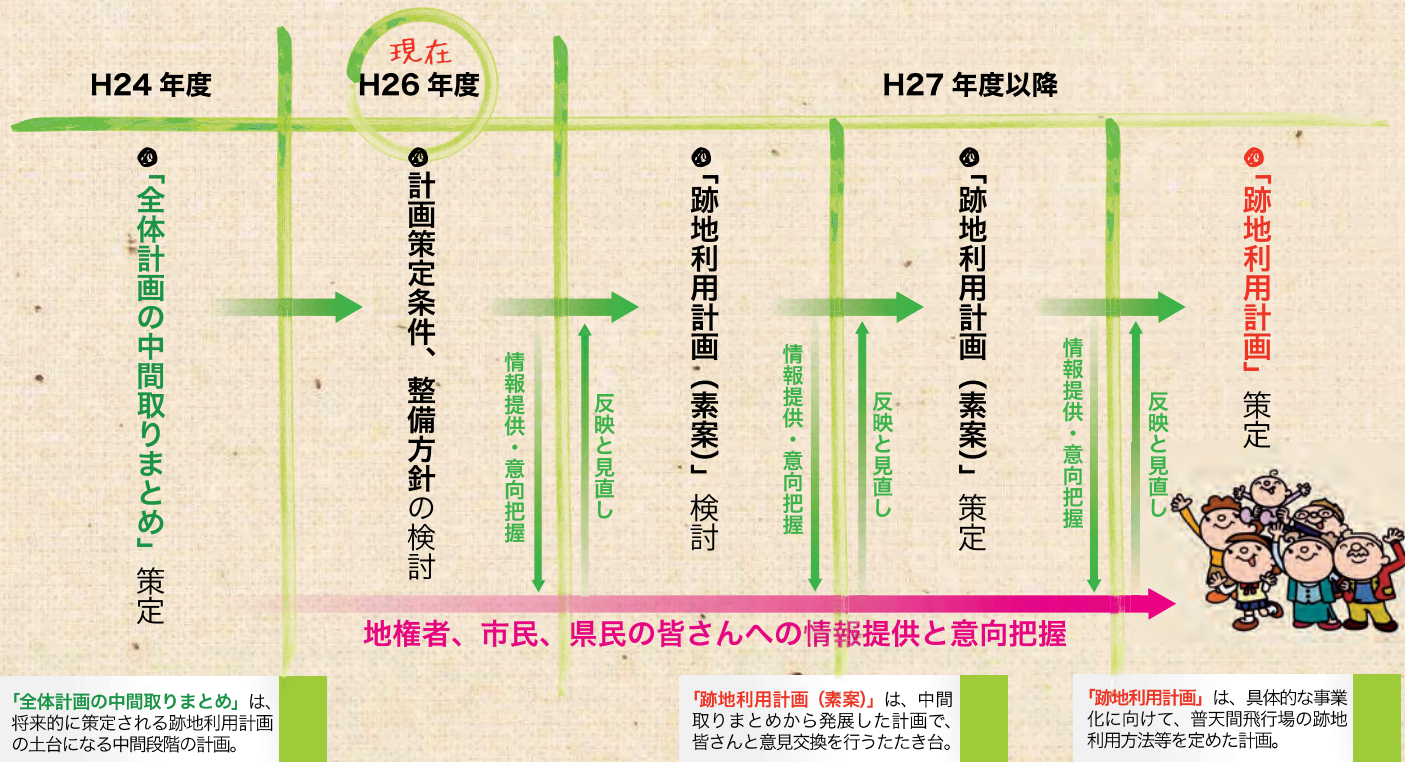


「沖縄学生会議 2015」の様子

※学生目線の主な意見を紹介します（他にも多数の意見が提案されています）

- ④ 観光客の不满と宜野湾市の一番の社会問題は交通渋滞である。跡地利用によって沖縄の中心である宜野湾市に見通しが良く、大きな道路をつくるべきである。
- ④ 跡地は産業と教育からのアプローチが重要である。産業分野からアミューズメントパーク等で経済を活性化させ、その後のお金の使い方等を教育分野で補うべきである。
- ④ 普天間基地の跡地を考える意義は「伝えるべき沖縄の記憶」である。あまりにも他人事であった普天間基地の問題をジブンゴトへ。その問題を建築的観点から議論していきたい。等

今後、跡地利用計画の素案が取りまとめられる予定です！



【「まち未来だより」発行元】

宜野湾市役所 基地政策部 まち未来課
 〒901-2710 沖縄県宜野湾市野嵩一丁目1番1号
 電話 098-893-4401 (直通) FAX 098-892-7022

普天間飛行場跡地利用に係る情報は、宜野湾市ホームページや情報提供窓口（宜野湾市基地政策部まち未来課）でも提供しております。情報収集や跡地利用に係る要望・ご意見を述べる場としてお気軽にご活用ください。